

インバランス収支計算書

2018年 4月 1日から

2019年 3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	71,476	営業収益	68,675
地帯間購入電源費	856	地帯間販売電源料	996
他社購入電源費	5,510	他社販売電源料	-
(インバランス対応取引費用)	(-)	(インバランス対応取引収益)	(-)
(インバランスの買取りに係る費用)	(5,510)	託送収益	7,733
社内取引費用	65,109	接続供給託送収益	7,733
(インバランス対応相当額取引費用)	(14,351)	(インバランスの供給に係る収益)	(7,733)
(インバランスの買取相当額取引費用)	(50,758)	(インバランスリスク料に係る収益)	(22)
		社内取引収益	59,945
		(インバランス対応相当額取引収益)	(9,973)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(49,971)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(341)
営業損失	△2,800		

(注)

1. インバランス収支計算書の算定

財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は財務諸表及びインバランス収支計算書を含む送配電部門収支計算書等には計上していない。なお、2018年度における確定額は、営業費用69,844百万円（地帯間購入電源費856百万円、他社購入電源費5,340百万円、社内取引費用63,647百万円）及び営業収益66,626百万円（地帯間販売電源料996百万円、他社販売電源料0円、託送収益7,988百万円、社内取引収益57,641百万円）である。

2. インバランス収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は6,337百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は6,341百万kWhである。また、2018年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は6,443百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は6,297百万kWhである。

3. インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。